



指導員訪問⑦ 5年 図画工作科

「アートカードを使って色や形から感じたことを伝え合おう」 服部 美和 教諭



みなさんは、左下の作品から何を感じますか、どんなイメージをもちますか。県の美術館より鑑賞教材として開発され、全校に配付された「アートカード」の1枚です。授業者は、作品の相互鑑賞の機会があっても、どこをそう見たらよいかという視点、美術的な価値が高い作品のすばらしさに触れ、感じる、さらに伝える経験の少なさを感じていました。



そこで、アートカードを使ったかるた遊びを通して、「見る」「考える」「伝え合う」「考えを深める」といった作品を見る力を育みたいと考えました。本時では、見方や感じ方、発想のおもしろさや楽しさに気付き、さらに深め広げる姿があったかどうかです。

まず、NHK放送「びじゅチューン」を視聴。次に子供が書いた読み札から1枚選び、教師が読んで各チーム40枚から一斉に迷いながらも自分なりに根拠をもって選びました。その後、授業記録のように、読み札を書いた8名から、このカードからどう感じて書いたかを聞きました。

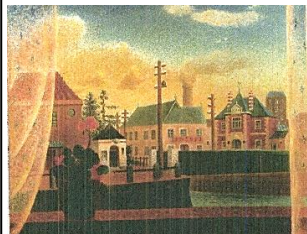


後半各チームでかるた取りを実施。下の絵の読み札に対して全員違

うカードを選ぶ班も。

<授業記録より一部抜粋、編集>

- T 1 : 同じアートカード (No. 6) で、読み札を書いた子が他に8人いるので、ちょっといきます。①「カラフルで不思議な森」。
- C 2 : (チーム内で40枚からカードを探す)
- T 3 : ②「闇の王国」・・・※繰り返し
- C 20 : この丸いところが木に見えて、たくさんあるから森に見えて、ここの三角で家みたいなのがあって、背景が黒色だから不思議だと思って思いました。(形)(構図)(イメージ)
- <略> -
- C 22 : こころ辺がカラフルだからサーカス場に見えて、暗いからサーカス場が今、夜なのかなって思いました。(色)(構図)
- C 23 : 周りが暗くて、いろんな所にいろんな部品とかあってその一つ一つが音が鳴って、その音で演奏になっているんじゃないかなって思いました。(イメージ)
- <略> -
- C 25 : 真っ暗だけど、こころ辺が遊園地に見えたので楽しそうだと思いました。(イメージ)



協議会では、カードの有効性だけでなく発表場面の有無に関して激論を繰り広げました。指導員から、表現と鑑賞の

相互作用、カードによるコミュニケーション力のアップ、鑑賞の視点をもつ大切さを学びました、

私はC20からの発表にドキドキでした。C23「音が鳴って」「演奏」と五感を働かせる子も。私なら、「黒色」「カラフル」(色)、「不思議」「楽しそう」(イメージ)と違う見方が出たところで「みんなはどう？」

と問い返しを。鑑賞が学級経営にもプラスになりますね。

